

2年 2組 5班の活動報告です。

## ◇ 研究テーマ「十人十色の個性」

- ・質の高い教育をみんなに
- ・人や国の不平等をなくそう
- ・平和と公正を全ての人に

【関連するSDGs (アイコン)】



## ◇ 実践したこと (フィールドワークなどで調べて分かったこと)

- ・靴磨き専門店 LEON に行って話を聞いた。  
→軽度の障害は理解されないことが多い。  
障害者に対する固定概念を持った大人が多いけど高校生くらいの年代の人それが薄れつつある。  
障害者雇用で働くより職人業(技術職)を見つけたほうが生きやすい。  
歩合制で見合った給料がもらえる。



## ◇ 提案

- ・子供がやりたいと言ったことは何でも挑戦させてあげる。  
→IQの高い子が多く、たくさんの可能性を秘めているから。
- ・環境を整える。  
→大人の障害に対しての理解を深める。
- ・できること、得意なことを伸ばしてあげる。  
→向き不向きがあるので無理に苦手なことをやらせるより得意を伸ばしてあげることが大切。  
一人一人の個性や癖に気づき障害者もその周囲の人も安心して生活できるようにする。

## ◇ 活動を通じて考えたこと

- ・今回の活動をするまでは、障がいは珍しいものだと思っていましたが当事者の方のお話を聞いたりポスターを作るにつれて障がいは身近にあるものということに気が付くことができました

た。

- ・今日では障がいについての考えが少しずつ変わっていているため、私たちも以前よりは障がいや障がいを持っている人々への理解が深まっていると思っていましたが、まだ全然浅い知識でしかないんだなと痛感しました。
- ・障害者雇用で働くより職人業を見つけたほうが生きやすいという事実を知り、その考え方がなかったので知れてよかったと思いました。
- ・障がい者に対する偏見・差別がまだ残る世を少しずつ変えていけるよう、未来を担う私たちが障がいについてよく知っていくことが大切だと思いました。
- ・これを機に障害者の暮らしやすい環境を作っていくことが大切ということを学べてよかった。
- ・障がい者への理解を深めたいと思った。
- ・障がい者に対する偏見や差別が少しでも無くなっていけるよう一人一人の理解が大切だと思います。